

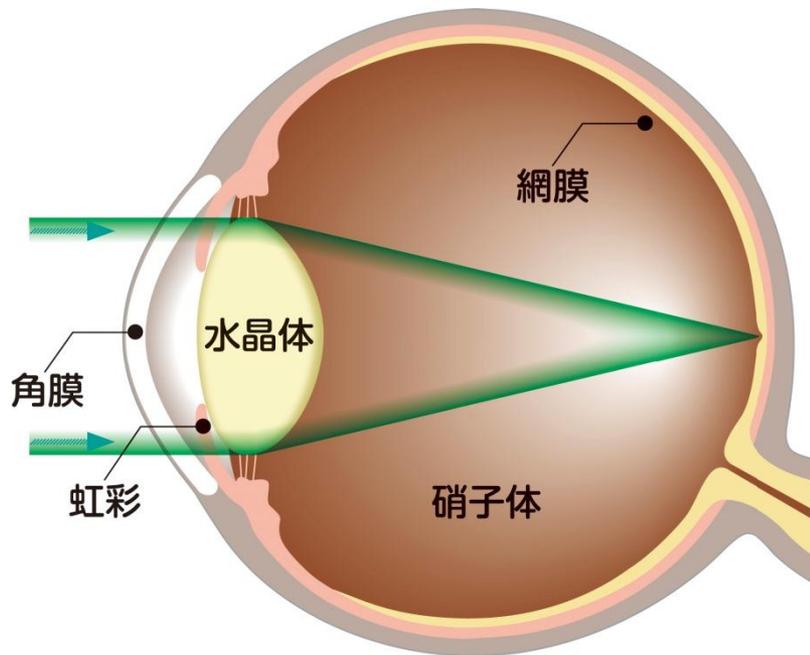
# 当院における白内障手術について



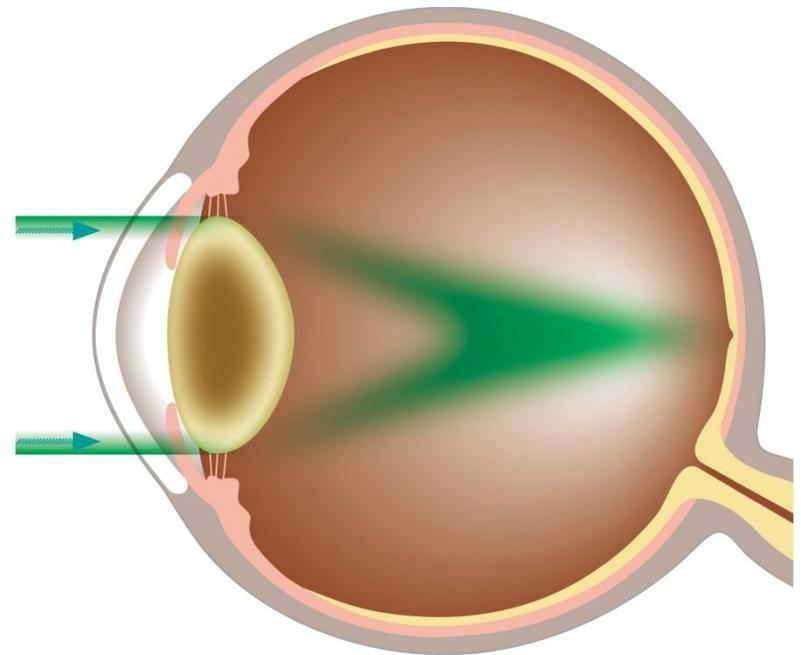
澤眼科医院 澤 雄大 澤 明子

# 白内障とは

白内障＝水晶体の混濁



正常の眼  
→網膜にピントが合っている



白内障の眼  
→ぼやけた映像が網膜に映る

# 原因

- ①加齢
- ②全身疾患：アトピー性皮膚炎、糖尿病など
- ③外傷性
- ④先天性
- ⑤続発性：ぶどう膜炎など
- ⑥その他：放射線、薬剤性（特にステロイド）

# 症状

正常の眼



白内障の眼



まぶしくなったり、物が霞んだり  
2重3重に見えたり、近視が進んだりします

# 治療

## ①点眼

白内障の進行を遅らせる

## ②手術

物理的に濁ったレンズを  
きれいなレンズに交換する

# 手術説明

①手術方法

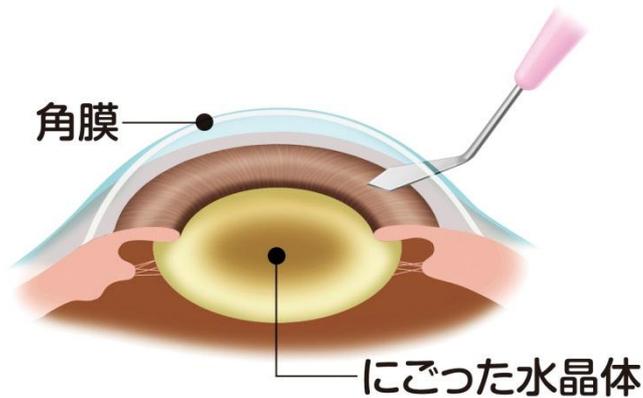
②術後の見え方について

③合併症

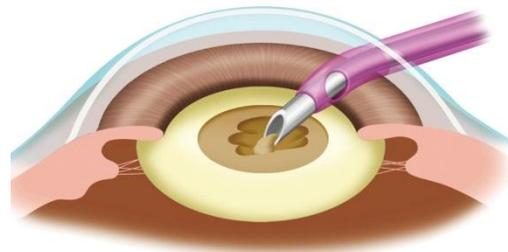
# ①手術方法

## 水晶体乳化吸引術、眼内レンズ挿入術

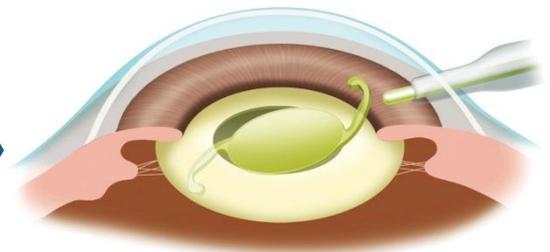
→濁ったレンズを取り除き代わりの人工レンズを挿入する手術



黒目(角膜)と白目(強膜)の境界に約2mmの傷を作る



レンズの**中身**を砕いて吸い取る



**残った袋(水晶体嚢)**に眼内レンズを挿入

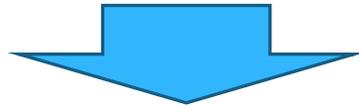
## ②術後の見え方について

- 白内障手術は濁った水晶体を人工レンズに入れ替える手術です。
- 眼内レンズは様々な厚みのものがある為、  
術後の裸眼での見え方は挿入するレンズに左右されます。

### 例えば

薄いレンズ→遠くが見やすくなります(その分近くが見えにくい)

厚いレンズ→手元が見やすくなります(その分遠くは見えにくい)



- 全ての物を裸眼ではっきり見ることは不可能です。
- 術後裸眼でどの辺りのものがよく見えるようになりたいか  
ライフスタイルに合わせてピントの位置を選んでください。  
(新聞の距離、転ばないように足元、運転に便利な遠方重視など)

## ②術後の見え方について

- 術後どこまで視力が向上するかは人により様々です。
- 水晶体以外は変わらない為その混濁分しか視力は改善しません。  
(角膜混濁があったり、眼底疾患がある場合は視力の劇的な改善は望めません。)
- 昔の眼に戻るわけではないので**老眼**は治りませんし  
元々**乱視**の強い方は軽減することはあれども消失はしません。  
→遠く用、近く用、またはその両方(遠近両用など)の**眼鏡**が必要になる場合もあります。

## ③合併症

- I. ショック
- II. 眼内炎(術後感染、無菌性)
- III. 駆逐性出血
- IV. 後囊破損、核落下、眼内レンズ縫着の可能性
- V. 強角膜創拡大の可能性
- VI. 水疱性角膜症の可能性
- VII. 術後治療の可能性
- VIII. 眼内レンズターゲットのずれの可能性
- IX. 結膜下出血、異物感 など

## ③合併症

### (i) アナフィラキシーショック

極まれに起こる可能性のある麻酔の急性のアレルギー  
万が一の際は救急処置が必要となります。

## ③合併症

### (ii)眼内炎(術後感染、無菌性)

約3000分の1で起こる一番怖い合併症です

術後感染を起こすと早急に眼内を洗浄しなければ  
視力の回復は見込めない為術前より視力が低下します。

症状は急激な視力の低下、強い充血、眼痛です。

術前後の感染予防が何より大切ですので医師の指示には  
きちんと従ってください。

## ③合併症

### (iii) 駆逐性出血

手術中に緊張や咳・くしゃみなどの勢いで  
眼の奥の血管が切れて出血する約10000分の1  
で起こる術中の合併症です。多量の出血を起こす為  
網膜が傷み視力の回復は困難となります。

**術中はリラックス**していただくことが何よりの予防です。

## ③合併症

### (iv)後囊破損、核落下、眼内レンズ縫着

手術中**水晶体の支えが(水晶体嚢やチン氏帯)**

**極端に弱い場合、水晶体そのものが眼底に落下したり、  
眼内レンズを挿入できない場合があります。**

その場合は眼内レンズを眼に縫いつける必要が

ありますが**時間がかかり、眼の負担**となるため

一旦水晶体を取り除いた時点で手術を終了し、

**後日改めて縫いつけ**を行います。

## ③合併症

### (v) 強角膜創拡大の可能性

あまりにも白内障が進行しすぎている場合や水晶体の落下のリスクが高い場合に傷を7-10mm程度開けて水晶体を取り出すことがあります。

その場合は傷を縫合します。

## ③合併症

### (vi)水疱性角膜症

角膜を透明に維持する細胞(角膜内皮細胞)があり、手術を行うとその負担で細胞の数が減少します。

その細胞は再生しない為、元々**細胞が少ない**場合は角膜を透明に維持できなくなることがあります。

その場合は他人の角膜をもらう**角膜移植**が必要になります。

## ③合併症

### (vii)術後の追加治療の可能性

術前に白内障が強すぎて眼底検査ができない場合に  
術後の眼底検査で新たな病気が見つかる事があります。  
その場合は追加治療が必要なこともあります。

## ③合併症

### (viii)眼内レンズターゲットのずれ

手術の時に挿入する眼内レンズは術前に裸眼でのピントの位置をあらかじめ計算してそれに合ったレンズを挿入します。最近機械の進歩に伴ってピントの位置の大きなずれは少なくなっています。ただ大きくズレた場合は**レンズの入れ替え**が必要です。特に**強度近視や強度遠視**の方はかなりズレ易いです。

## ③合併症

### (ix)結膜下出血、異物感

手術の際は**わずか**ですが**切開する為、出血**します。  
多くても数mlですが**白目が真っ赤**になることがあります。  
たとえ赤くなっても必ず出血は吸収しますので心配しないでください。また、切開部が術後にゴロゴロしたり違和感がある場合がありますが傷が治れば消失していくことがほとんどです。

# 術後について

## ① 洗顔・洗髪は1週間禁止

術当日はシャワーも禁止

術後1-3日は首下シャワー

術後4-6日は半身浴程度は可

**顔は清浄綿で拭くのみで濡らさないこと**

## ② こまめな通院

## ③ 3ヶ月程度を目安に術後点眼の継続

## ④ 2-3ヶ月程度を目安に眼鏡合わせ